

下記引用文献 2 に垂直、水平の相関性の強い方向を検出し、相関性の強い方向の画素値を用いて補間を行う技術が記載されているように、相関の強い方向の画素値を優先して補間に利用することは、当該技術分野の慣用技術である。

引用文献等一覽

1. 特開平11-215512号公報
2. 特開2001-320720号公報

先行技術文献調査結果の記録

- | | | | | | |
|---------|------------------------------|---------|---------|---|---------|
| ・調査した分野 | I P C | H 0 4 N | 9 / 0 4 | — | 9 / 1 1 |
| | | | 1 / 4 6 | — | 1 / 6 4 |
| ・先行技術文献 | 特開 2 0 0 0 — 2 2 4 6 0 1 号公報 | | | | |
| | 特開 2 0 0 4 — 1 5 3 8 2 3 号公報 | | | | |

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 映像機器（テレビジョン） 清水 正一

TEL. 03 (3581) 1101 内線3579

FAX. 03 (3501) 0715